

## 用語解説

### ○近代化産業遺産

文化庁が定義している文化遺産の概念のひとつに、幕末から第二次世界大戦期までの間に建設され、日本の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物を近代化遺産としている。その文化のうち、工場跡や炭鉱跡等の建造物、画期的製造品、製造品の製造に用いられた機器や教育マニュアル等の日本の産業近代化に貢献した産業遺産としての価値を経済産業省が認定した文化遺産。

### ○産業遺産

産業にまつわる遺物や遺跡のこと。

### ○ジオミュージアム

地球（＝ジオ）活動の遺産を主な見所とする自然の中のミュージアム。

### ○ヘリテージツーリズム

ヘリテージ＝産業遺産（ある時代においてその地域に根付いていた産業の姿を伝える遺物や遺跡）を見所として周遊しながら学習や地域のボランティアガイド等と交流する観光旅行。

### ○ユネスコ

国際連合教育科学文化機関。国際連合の経済社会理事会の下におかれた、教育、科学、文化の発展と推進を目的として、1945年11月16日に採択された「国際連合教育科学文化機関憲章」（ユネスコ憲章）に基づいて1946年11月4日に設立された国際連合の専門機関。

### ○NPO

営利目的でなく目的の実現のために活動する組織。法人格を有すればNPO法人と表記する。

### ○ユネスコの世界遺産暫定一覧表

世界遺産登録に先立ち、各国がユネスコ世界遺産センターに提出する暫定リストのこと。

### ○地域コミュニティ

地域住民が生活している場所。日常生活のふれあいや共同の活動、共通の経験を通じて生み出されるお互いの連帯感や共同意識を持つ地域社会。

### ○景観

その地域の風土、歴史、活動等が風景として映し出されているもの。

### ○都市計画フレーム

都市計画（マスタープラン）において構想や制度に取り組む理念、構想、計画、事業といった中に組込まれる枠組みのこと。

### ○環境共生都市

良好で快適な生活環境や自然環境を保全・形成するとともに、地域経済社会の活性化と循環型社会の構築を図りながら、共に生きる都市像のこと。

### ○サスティナブル

継続可能な、あるいは、持続可能なこと。

### ○ランドマーク

まちや地域の象徴あるいは目印として特徴をもつもの。

### ○社会関係資本

ソーシャルキャピタル。人々が持つ信頼関係や人間関係（社会的ネットワーク）を主に差し、人間関係の豊かさこそを社会の資本としてとらえるソフトな概念。

### ○ホスピタリティ

思いやりや気配りといった、心のこもったおもてなし。

### ○都市計画マスタープラン

都市計画法（第18条の2）に定められている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」の呼称であり、市町村がその創意工夫のもとに、市民の意見を反映して、都市の将来のあるべき姿や都市づくりの方向性を定めるもの。

### ○アイデンティティ

自我同一性、自己同一性。ときおり慣習的な使い方で、「本来の自分らしく生きること」などの意に用いられることがある。

### ○着地型観光

目的地に客が集合・解散するツアータイプ。従来の観光主流であったマストゥリズムに対して、着地型は地域が観光商品をプロデュースし、体験・交流・学習を目的観光のこと。

### ○インフォメーション

情報、報道、お知らせ、受付、案内。

### ○フィルムコミッション

映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする公的機関。

### ○ミュージアムリンク

美術館、博物館等への連結・連動、つながり。

### ○都市型観光

平地部でかつ公共交通で移動できる範囲の中で、博物館等の施設でその地域の歴史文化等を学び体験する観光スタイル。

### ○ボランティア

一般に自発性、無償性、利他性、先駆性の概念。無償性の原則に関して「無償」の範囲をより柔軟に考えることによって実費の弁済や一定の謝礼を受ける「有償」ボランティアが出現している。日本では町内会・自治会・消防団など地縁・血縁によって強固に結びついた相互扶助の慣習があり、外部からのボランティアを受け入れる必要性は少なかったが、核家族化や独居が増加し、災害時等の有事の対応が困難になり、外部から相互扶助する活動をさすようになった。

## ○景観法

景観計画の区域、良好な景観の形成に関する方針、良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項、景観重要建造物・樹木の指定の方針などを定める法律。

## ○歴史まちづくり法

歴史と伝統を反映した人々の生活や歴史的な建造物など、その周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な環境(歴史的風致)を維持・向上させ後世に継承するために制定された法律。

## ○第三セクター

国・地方公共団体と民間との共同出資による事業体。

## ○コミュニティービジネス

地域の課題を地域住民が主体的に、地域資源を活かしながらビジネス手法を用い解決する取り組み。

## ○作務

さむ。鷲尾勘解治の提唱した青年の勤労奉仕。直接の意味は、禅宗の教えで、不平不満なく喜んで会社や人のために奉仕し、善行をなす勤め。

## ○重要文化財

国の指定を受けた文化財。重要な建造物等が該当。

## ○登録有形文化財

建造物、工芸品、彫刻、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料などの有形の文化的所産で、我が国にとって歴史上、芸術上、学術上価値の高いもので、文化庁によって登録されたもの。

## ○ツアーマネジメント

商品企画から造成、販売、催行に至る一連の過程を運営・管理すること。

## ○ユニバーサルデザイン

全ての人が共通して利用できるデザインすること。

## ○オーラルヒストリー

インタビューなどの方法で、歴史や語りを記録・保管し後世へと残す手法(口述史記録)。

## ○シンボリック

象徴的であるさま。

## ○経済特区

経済発展のために法的、行政的に特別な地位を与えられている地域。

## ○電力特区

電力に関する既存の規制を超えて、一定の範囲内での規制緩和。

## ○建築協定

住宅地の環境、商業地の利便性向上等のため、建築基準法による市町村条例に基づき、土地や建築物の所有者等が、一定区域の建築物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠等について基準を定める協定。

## ○地区計画制度

道路、公園などの配置およびその施設の規模、建物などの用途、形態、敷地などの制限、その他土地の利用の制限に関することを総合的に計画に定め、誘導・規制することによって、その地区の特性に、ふさわしい良好な環境の市街地を形成する制度。

## ○ワークショップ

地域住民参加手法の一つで、グループ討議などを重ね、参加している者の意見を集約させながら一つの計画にまとめていく方法。

## ○シンポジウム

研究発表会、討論会。

## ○パネルディスカッション

討論形式の一つ。掲げられたテーマについて、異なる意見を持った複数（3人以上）の討論者によって、公開で討議を行う様。

## ○ライオンズクラブ

世界最大の社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」に所属する単位クラブ。

## ○コーディネーター

いろいろな要素を統合したり調整するまとめ役。

## ○都市インフラ整備

道路・港湾・河川・鉄道・通信情報施設・下水道・学校・病院・公園・公営住宅など社会的経済基盤、社会的生産基盤の整備。

## ○ファンド

複数の投資家や個人から資金を集めて運用する投資基金。

## ○マネジメントスキル

管理・運営能力。

## ○伝統的建造物群保存地区

昭和 50 年の文化財保護法の改正によって伝統的建造物群保存地区の制度が発足し、伝統的な集落や町並みの景観を市町村と地域の住民が、伝統地区と決定し市町村が地区指定するといった、市町村が主体の保存事業。

## ○企業城下町

一つの企業を中心に関連企業が集積し、経済・社会の基盤が構成される町。

### ○書院造り

鎌倉時代に成立した住宅様式

### ○切妻造

屋根の最頂部の棟から地上に向かって二つの傾斜面が本を伏せたような山形の形状をした屋根。

### ○入母屋造

上部を切妻とし、下部の四周に庇や屋根を廻した形態。

### ○曳家工法

建築物を解体せずにそのまま水平移動させて、他の場所に移すこと。

### ○ナショナルトラスト

歴史的建築物の保護を目的として英国において設立されたボランティア団体。または、同様の趣旨を持って活動する運動、あるいは理念をさす。

### ○コミュニティーカフェ

地域社会の中で「たまり場」や「居場所」になっているところの総称。

### ○ゲストハウス

来客の宿泊のために、母屋とは別に用意された建物、訪問者のための宿泊施設。

### ○インキュベーションオフィス

起業や創業をするために活動する入居者、設立して間がない企業などを支援する施設。

### ○サイン施設

人々の行動のよりどころとなる情報を具体的なかたちで表した施設。公共空間、建物内など様々な空間で見かける案内施設のこと。

### ○ストック

都市計画や都市政策の分野では、価値あるものを造って大切に長く使う社会を都市ストックと呼ぶことがあり、その意味において、都市の資産となるものをさす。

### ○パートナーシップ

協力関係、共同、提携。英国や米国で、複数の個人または法人が共同で出資し、共同で事業を営む組織。

### ○エコミュージアム

エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）とをつなぎ合わせた造語。ある一定の地域において、住民の参加によって、その地域で受け継がれてきた自然や文化、生活様式を含めた環境を、総体として永続的な（持続可能な）方法で研究・保存・展示・活用していくという考え方。

### ○ポケットパーク

小さい規模の公園、あるいは、公開空地。

## ○インタープリター

単なる情報の提供でなく直接体験や教材を通し、事物や事象の背後にある意味や関係を明らかにする活動者。主に自然の解説を行う者。

## ○スタンプラリー

観光地などである一定のテーマの中でスタンプを集める企画。訪問者の周遊性を高める仕掛けのこと。

## ○ニューツーリズム

従来の旅行とは異なり旅行先での人や自然との触れ合いが重要視された新しいタイプの旅行。国土交通省の観光立国推進基本計画では、ニューツーリズムの促進として以下を挙げている。

- ・長期滞在型観光の推進
- ・エコツーリズムの推進
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・文化観光の推進
- ・産業観光の推進
- ・ヘルスツーリズムの推進
- ・その他ニューツーリズムの推進[2]
- ・船旅の魅力向上の推進
- ・都市の農山漁村の共生・対流の推進

## ○SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス。社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスの事。

## ○twitter

ツイッター。140文字以内の「ツイート」(tweet)と称される短文を投稿できる情報サービスのこと。コミュニケーションメディア。

## ○ピクトグラム

絵文字。「非常口」のサインのように2色で表した視覚記号。